

学生の海外派遣結果(2023年度)

プログラム					期間	留学先	参加者数	活動内容	単位認定の方法	単位認定
長期留学	交換留学(2023-2024秋出発・春出発)	4か月～11か月 (1～2学期)	オランダ スペイン ドイツ フィリピン 韓国	21	参加学生は、学部で開講されている科目を履修する。 専門留学では、本学の学部での学びをさらに深める科目を履修し、知識を発展させることで、帰国後の学修成果の向上を図る。語学留学では、現地の留学生向けに開講されている言語科目や、英語の4技能に特化した科目を履修し、語学力の向上に努める。いずれの留学においても、学生の興味・関心に応じた科目履修を認め、教養の深化と視野の拡大を促す。 また、留学中の様子は随時国際センターのSNSに掲載し、帰国後には留学説明会やオープンキャンパスに登壇して自身の経験を発表する機会を設け、留学経験を言語化できるようにする。				履修科目の合格を条件に、外国留学報告書、成績証明書、留学先科目の授業時間数等に基づき認定分野、認定単位数を判断し単位認定。	5～33単位 ※2022年度実績

(2024年5月1日現在)

プログラム					期間	留学先	参加者数	活動内容	単位認定の方法	単位認定
短期留学	First-Step Study Abroad Program	2週間	フィリピン	29	1年次の夏期休暇に実施するプログラムであり、今後の長期留学や学内での国際交流へと結び付くよう設計されている。 研修中は、マンツーマンおよびグループでの英語授業を通じ、短期間で集中的に英語を学ぶ。また、現地NGO団体を訪問し、ストリートチルドレンやゴミ問題などの社会課題について学ぶことで、グローバルな視野を養う。 さらに、現地での様子を国際センターのSNSで発信し、研修日誌の記録を義務付けることで自己の成長を振り返ることができる。その経験は、帰国後に留学説明会等で発表する機会を通じて言語化される。 加えて、事後研修で振り返りを行うことで、学内での国際交流や長期留学など、次のステップへとつなげる。				研修先での修了を条件としうえて、本学の「海外研修Ⅰ」(2単位)において単位認定。成績評価については、研修先や事前・事後研修での出席率や課題などから算出。	2単位
	夏期海外研修	2.5週間～4週間	アメリカ カナダ 韓国	53	レベル別の語学授業を受講することで、語学能力の向上と理解の深化を図る。 また、語学授業以外にも留学先での文化体験や各種アクティビティに参加し、現地文化や日本との違いを学ぶことで視野を広げる。 研修中は研修日誌の記録を義務付け、自己の成長を振り返る機会を設ける。さらに、その経験は帰国後の留学説明会等で発表することにより、留学経験の言語化につなげる。 加えて、事後研修における振り返りや成果発表を通じて、学内での国際交流や長期留学など、次のステップへとつなげる。				各研修先での修了を条件としうえて、本学の「海外研修Ⅰ・Ⅱ」(各2単位)において単位認定。成績評価については、研修先や事前・事後研修での出席率や課題などから算出。	2単位
	春期海外研修	4週間	カナダ	12	レベル別の語学授業を受講することで、語学能力の向上と理解の深化を図る。 また、語学授業以外にも留学先での文化体験や各種アクティビティに参加し、現地文化や日本との違いを学ぶことで視野を広げる。 研修中は研修日誌の記録を義務付け、自己の成長を振り返る機会を設ける。さらに、その経験は帰国後の留学説明会等で発表することにより、留学経験の言語化につなげる。 加えて、事後研修における振り返りや成果発表を通じて、学内での国際交流や長期留学など、次のステップへとつなげる。				各研修先での修了を条件としうえて、本学の「海外研修Ⅰ・Ⅱ」(各2単位)において単位認定。成績評価については、研修先や事前・事後研修での出席率や課題などから算出。	2単位